記者発表資料

平成20年06月23日

山形河川国道事務所
酒田河川国道事務所
山形地方気象台

最上川水系及び赤川水系で
洪水予報指定河川を追加しました
～本格的な出水期を前に洪水予報の対象範囲を拡大～

これまで、洪水により国民経済上重大又は相当な損害が生じる恐れがある河川については、国土交通省と気象庁が洪水予報指定河川として定め、共同して洪水予報を行い、報道機関を通じて発表してきたところですが、６月２３日から最上川水系及び赤川水系の１１河川（国管理区間）を新たに洪水予報指定河川に追加しました。

これにより、山形河川国道事務所又は酒田河川国道事務所と山形地方気象台が共同で発表する洪水予報の対象範囲が広がることから、さらに地域の皆様の避難行動等の防災活動に役立てられます。

【今回　最上川水系及び赤川水系で洪水予報指定河川に追加した河川】

〇最上川上流（天王川、鬼面川、吉野川、誕生川、置賜白川、寒河江川、村山野川）
〇最上川下流（立谷沢川）
〇須川下流　（馬見ヶ崎川）
〇赤川　　（大山川、内川）
上記１１河川の国管理区間　計　１７．０３ ㎞

〈別添資料〉
参考１～３

発表記者会：山形県政記者クラブ、酒田記者クラブ、鶴岡記者会

問い合わせ先

山形河川国道事務所 （℡：023-688-8421）
調査第一課長　菅原 弘敏　［内線 351］
酒田河川国道事務所 （℡：0234-27-3331）
調査第一課長　佐藤 信男　［内線 351］
山形地方気象台 （℡：023-622-0632）
防災業務課長　佐藤 忠志

（参考１）

■洪水予報河川指定の追加について

今回追加した最上川水系及び赤川水系の１１河川（国管理区間）は、最上川、須川、赤川の支川にあたる河川で、大きな出水には各本川の背水（はいすい）の影響によりはん濫を引き起こす可能性があります。

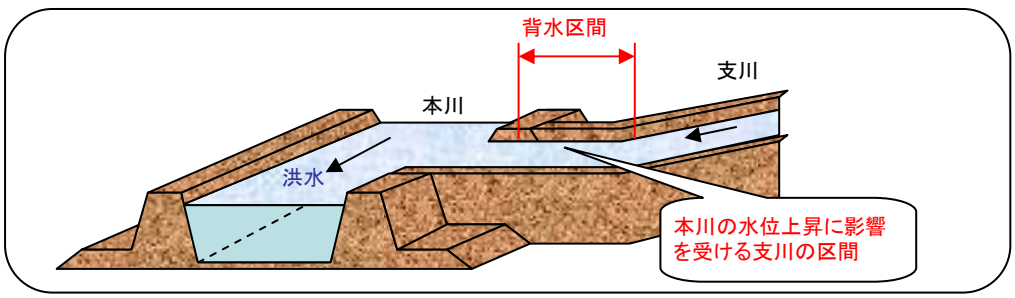
このため、平成２０年度の本格的な出水期前に、減災のためのソフト対策の一つとして最上川水系及び赤川水系の１１河川（国管理区間）を洪水予報指定河川に追加しました。

水系名	河川名	予報区間	基準地点
最上川	最上川（上流）	左岸　米沢市中田町字堀立川向21番の乙地先～村山市大字田沢字小野原907の65 右岸　米沢市大字花沢字八木橋西上3616番地先～村山市大字土生田字高橋1515の2	糠野目 小出 長崎 下野
	（支川）天王川 ※	最上川合流点から上流1.3kmまで	糠野目
	（支川）鬼面川 ※	最上川合流点から上流0.578kmまで	糠野目
	（支川）吉野川 ※	最上川合流点から上流2.0kmまで	糠野目
	（支川）誕生川 ※	最上川合流点から上流2.5kmまで	糠野目
	（支川）置賜白川 ※	最上川合流点から上流2.0kmまで	小出
	（支川）寒河江川 ※	最上川合流点から上流0.452kmまで	下野
	（支川）村山野川 ※	最上川合流点から上流2.0kmまで	下野
	最上川（下流）	左岸　最上郡戸沢村大字古口字土湯1503番3地先～海まで 右岸　最上郡戸沢村大字古口字柏沢外八国有林197林班く小班地先～海まで	臼ヶ沢 下瀬
	（支川）立谷沢川 ※	最上川合流点から上流0.5kmまで	臼ヶ沢
	須川(下流)	左岸　山形市飯塚町字中河原1629番地先～最上川合流点 右岸　山形市飯塚町字中河原165番地先～最上川合流点	鮭洗
	（支川）馬見ヶ崎川 ※	須川合流点から上流1.2kmまで	鮭洗
赤川	赤川	左岸　鶴岡市熊出字南俣95番の内5地先～海まで 右岸　鶴岡市中野新田字野新田7番地先～海まで	熊出 羽黒橋 浜中
	（支川）大山川 ※	赤川合流点から上流2.5kmまで	浜中
	（支川）内川 ※	赤川合流点から上流2.0kmまで	羽黒橋

※ ・・・・・ 今回追加となった河川

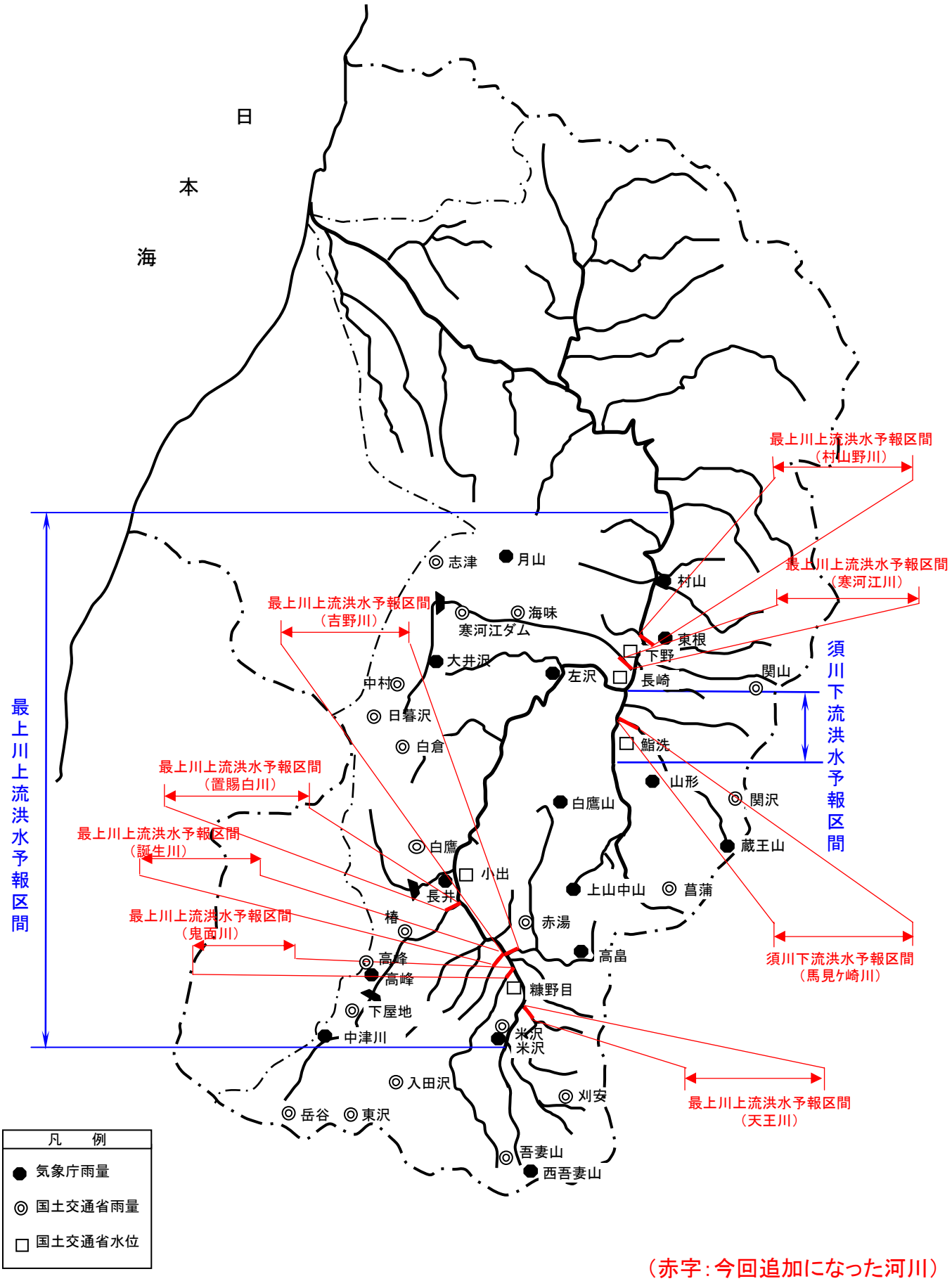
■背水（はいすい）区間とは

支川において、洪水時に本川の水位上昇に影響を受けて支川の水が流れづらくなり、水位が上昇する区間



（参考2）

洪水予報区間及び雨量・水位観測所配置図 （山形河川国道事務所管内）



（赤字：今回追加になった河川）

洪水予報区間及び雨量・水位観測所配置図 （酒田河川国道事務所管内）

